

豊中市社協から

4冊の本 が出ました！



発達障害の僕が

ホームレスになった理由

訓練・就労そして再出発

豊中市社会福祉協議会 企画・監修 荒木龍三 文
四六版・176頁 定価 1600円+税

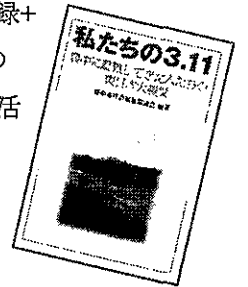
●豊中市社協が支援している当事者による自分史。発達障害と知らずにホームレスとなった著者。その後、障害者職業訓練センターでの訓練を経て、一般就労へ、そして…。本人からのメッセージは支援者にとって何よりも貴重。

私たちの3.11

豊中に避難してきた人たちの東日本大震災

頒価 800円 収益は東日本大震災の復興支援事業に寄付します

●豊中市へ避難してきた10人の体験談(大学生の聞き取りによる)+社協の支援活動の記録+パーソナル・サポート事業としての被災者支援事例も紹介。全国で生活している被災者支援事例も紹介。全国で生活している被災者支援のヒントがいっぱい。



福祉マンガ

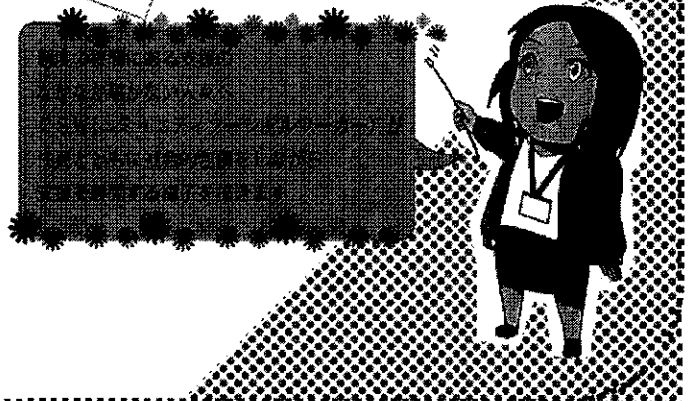
「セーフティネット

～コミュニティソーシャルワーカーの現場」

豊中市社会福祉協議会 編 ポリン 画

A5版・100頁 定価 800円+税

●制度の狭間にある支援の手がなかなか届かない人々へ、CSWが住民とともに社会的包摂をしながら支援を展開する様子をマンガで紹介。コミュニティソーシャルワーカーを知るための必読の書。豊中市社協発達障害者・ひきこもり支援プロジェクト「びーのびーの」メンバーがマンガを担当。



お問合せ・お申込み先

豊中市社会福祉協議会 地域支援係

〒560-0023 大阪府豊中市岡上の町 2-1-15

豊中市すこやかプラザ内

Tel 06-6848-1279 / FAX 06-6841-2388

僕と僕らのための詩

監修 豊中市社会福祉協議会 Takaya 著

●不登校、ニート、ひきこもりの著者が贈る131編の詩。豊中市社協がパーソナル・サポートで支援を行う中で本人と出会う。胸の内を詩にして社会とつながろうと取り組んだ大きな第一歩。

Sold Out

住民主体の地域活動

気になる人を真ん中に

川崎市宮前区野川

「すずの会」

すずの会

設立 平成7年9月
設立メンバー 小学校のPTA仲間5名
平成24年10月 活動メンバー62名

渋谷から電車で20分 駅からバス15分 坂が多く徒歩での買い物は不便 市営・県営住宅は 4階5階建て エレベーターなし 高齢化50%を超え 単身世帯が急増 45年前に開発された住宅街の高齢化も進んでいる 一方若い世代の流入も多く、畑の宅地化が顕著

すずの会

川崎市宮前区野川地区(平成24年3月)

人口 約28.000人

高齢化率 19、3%

65歳以上人口 約5400名

要介護者 約865名

設立のきっかけ・目的

- ・ 介護経験を地域で生かす
- ・ 「ちょっと困った時、気軽に鈴を鳴らしてくださいね」という思いを込めました
- ・ 制度の隙間を埋める
- ・ 自分たちの老後も考えたグループ作り
- ・ 当事者の立場で考える
- ・ 生活者の視点を忘れない
- ・ ネットワーク作り
- ・ 身近なつぶやきを実践に生かす
- ・ 身の丈に合った実践の積み重ね

身近な生活課題に対応する

- 人を知る
- 地域を知る
- つながりを考える

やってみましょうよ

- 身近な人との出会いを大切に
- 発見・気づき・見守り・掘り起こし・つなげる
- この人の問題を解決するために、私たちが
できることを考え、活動を生み出す
- 地域の実情に合わせて、何があって、何が
足りないのか、地域を歩き独自の工夫を探る
- 地域住民が主体となり、行政・組織など様々
なネットワークとつながり、みんなで取り組む

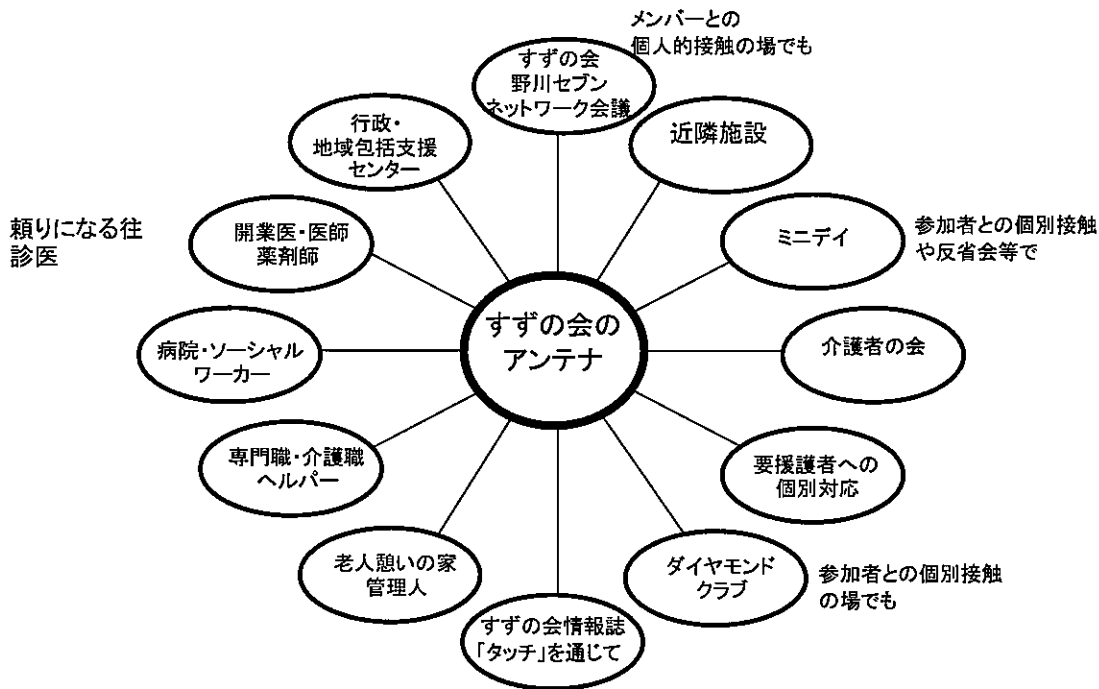
この人のため 活動を生み出す 制度に馴染まない隙間を埋める

- 集いの場
 - ミニデイ「リングリングクラブ」
 - ご近所サークル「ダイヤモンドクラブ」
- 地域ネットワーク「野川セブン」
- 介護者サポート(スポットヘルプ・介護相談)
- 情報提供(介護情報誌『タッチ』発行)
- 公園体操
- 特養内地域開放型 「喫茶マロニエ」

地域ネットワーク

- 地域ネットワーク会議 2001年1月より
 - 毎月1回定例会議
 - すずの会がまとめ役
- 自主活動団体・民生委員・地区社協・自治会・地域包括・行政・施設・ケアマネなど26団体が参加
- 地域包括支援センターの運営会議もかねる
 - 地域で心配なことを、皆で考える、即実行
 - ライフプランからケアプラン
 - 得意を活かす 無理しない

当事者につなぐアンテナ



地域マップ

- 福祉制度では支えきれない問題山積
- 複合的な問題に公的サービスだけでは支えきれない
- 制度の隙間を発見・気づき
- 活動を生み出す
- マップを作りながら ネットワーク・人材発掘
- 情報の可視化

人を知る

- ・ちょっと気になる人
 - 一人暮らし・高齢者世帯・介護が必要・シングル
介護者・男性介護者・障害者・呼び寄せ高齢者
 - 体調がすぐれない・繋がりにくい
- ・世話焼きさん
- ・民政委員 地区社協
- ・マップに落とす
- ・知っている情報
- ・孤立？ ほっておかない
- ・さりげなくつながる

活動が生まれる 私のための楽しみの場「ミニデイ」

場所 野川いこいの家

毎月 第2水曜・第4火曜 10:00～15:00

- ・私が主役 ・境目のない関係
- ・プログラムのない楽しさ
- ・男性参加者が増加・子育てママの癒し
- ・家族も一緒に参加 ファミリーサポート
- ・情報交換・一人ひとりの状況把握
- ・日常のつながり、顔なじみに発展
- ・食事は手作り 500円

ミニデイ「リングリングクラブ」

平成7年12月～

【平成23年度】

- ・ 開催回数 23回
- ・ 参加者延べ 1759名
(当事者・家族 752名)
(ボランティア 918名)
- ・ (特養・ケアハウス・グループホームからの参加 78名)
- ・ 当事者平均介護度 2.5
- ・ 参加費 昼食代 500円
- ・ 美容・送迎 500円
- ・ リフト付バス旅行 1回63名

- ・ 連絡はまめに
- ・ その日の反省会、少しの変化
気づきを出し合う



気軽なお付き合い
さりげなく 見守る



近所なのに話す機会がなかったね



定休日はボランティア
500円が魅力 出張も引き受けます

ご近所サークル 「ダイヤモンドクラブ」

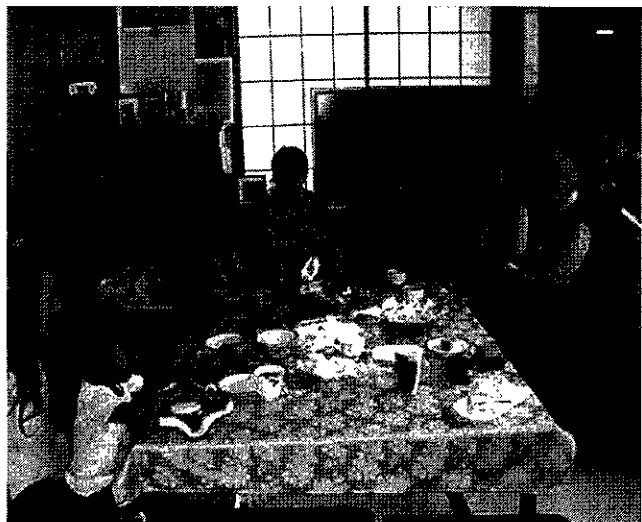
- ご近所単位の集いの場
- 有志が自宅を開放
- ちょっと気になる人を仲間に
- 緩やかな関係作り
- 悩みもさりげなく
- 助け合いのできるご近所
- 当事者の自宅を開放
- 開催は年3回以上自由に

都市部でヒット「ダイヤモンドクラブ」

平成16年5月～

【平成23年度】

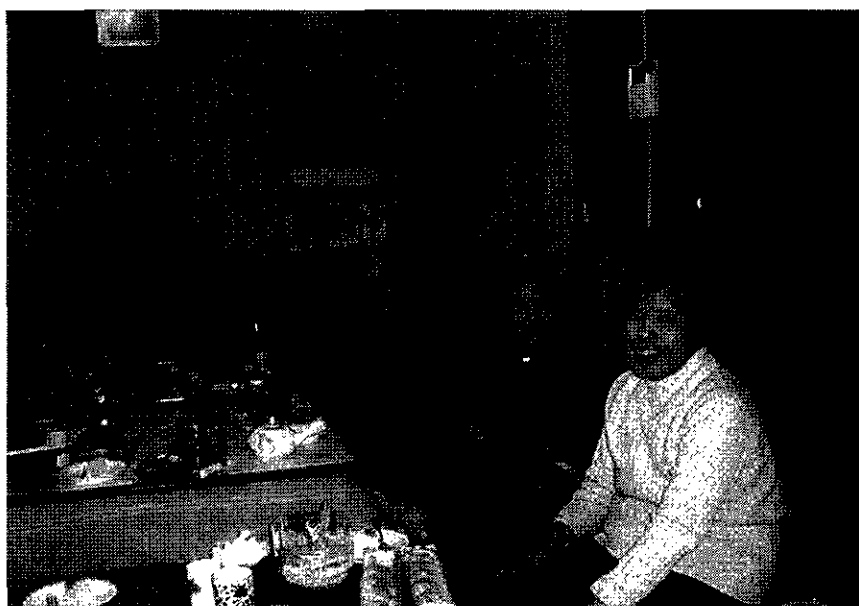
- ・個人宅 32カ所
119回 1700名
不定期開催
- ・集会場、商店の店先など居場所 4カ所
定期開催



普段着のお付き合いから始まる



ゆるやかなつながり



一人暮らしの自宅開放 男性介護者も気楽に付き合いに加わる

介護者宅でお茶のみ



チームH 特別養護老人ホームから在宅に



男介の時代・息子介護

都市部で急速に
増える男性介護者

(夫や息子が介護)

34%

(シングルの息子が介護)

59%

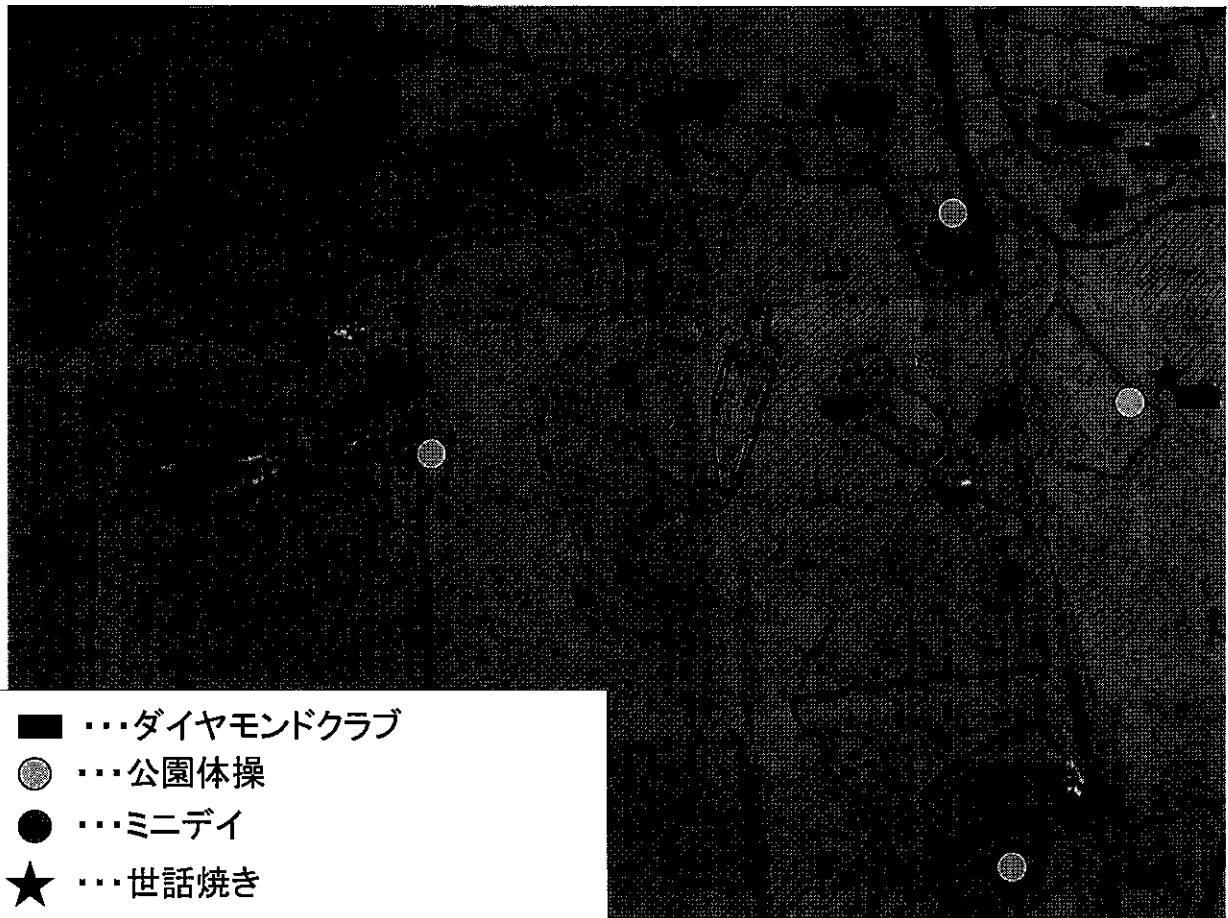


つながりにくい？息子介護



身近な人に出会う

- わかってくれる仲間
- 一人ではない安心感
- いざという時につながる
- ファミリーサポート
- 役割がある
- 孤立しない
- 地域全体で考える



- …ダイヤモンドクラブ
- (with grid) …公園体操
- (solid) …ミニデイ
- ★ …世話焼き

1号棟

5階	9 ♀	10 ▲		20 ♀		31 ♀	32 ♀	33 ♀	40 ♀
4階	7 ♀	8 ♀	17 ♀	18 ▲	19 ▲	29 ♀	30 □	37 ▲	38 □
3階	5 ♀	6 ♀	15 ▲	16 ♀	25 ♀	26 □	27 ♀	28 ▲	36 □
2階	3 ▲	4 ♀	13 ♀	14 ♀	23 ♀	24 ♀		35 ♀	
1階	1 □	2 □	11 □	12 ●	21 ♀	22 ●		33 ▲	34 ●

☆住居付き ●朝に在宅人 ▲居住する人口が1名未満

2号棟

5階	☆ ● 70代男	♀ 40代女	♀ 60代女				♀ 60代男	♀ 70代男
4階		☆ □ 70代女	● 70代女	♀ 80代女		☆ □ 60代女	♀ 60代男	♀ 50代男
3階	● ▲	▲		♀ 80代女	☆ ▲ 70代女	● ▲	● ▲	● ▲
2階								
1階	♀		♀ 60代男	♀ ● ▲ 60代女		☆ □ 70代女	♀ ● ▲ 70代女	

☆一人暮らし ●外出不可 ▲住居付き □居住可能

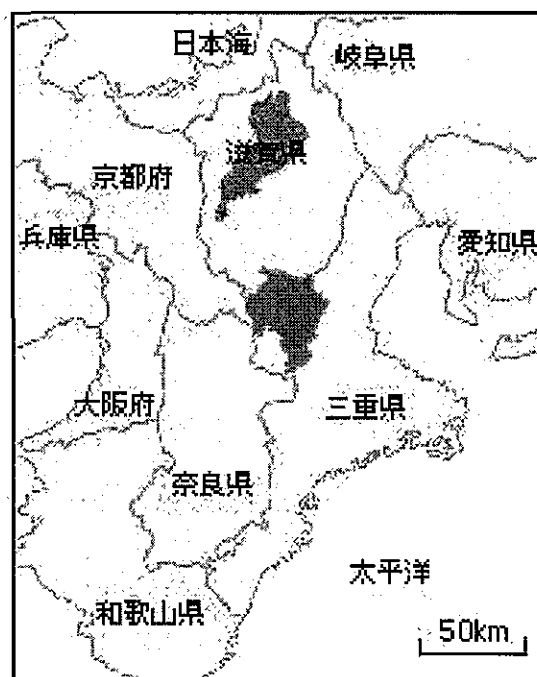
安心生活創造事業全国会議 座談会

安心生活創造事業を 行ってきた中で見えてきたもの。 これからの展望を考える

伊賀市社会福祉協議会 田邊 寿
全国権利擁護支援ネットワーク

伊賀市のデータ (平成24年9月現在)

人口: 98,325人
世帯数: 39,317世帯
高齢化率: 27.6%
面積: 558.17km²



地域で安心して暮らせない

- 人口減少・少子高齢社会
- 世帯の小規模化
- 家族関係の希薄化
- 絆の弱体化(地縁・血縁・社縁)
- 悪徳商法の拡大(消費者トラブル)
- 虐待事案の発生

等が背景であり、社会的支援、権利擁護を必要とする方は、ますます増加する

3

制度からもれる人は必ず発生する

- 本人の困りごとの中には、本人だけでは解決の難しいトラブルも含まれる可能性が高い。
- しかし、制度対応には、必ず限界がある。
- また、困りごとの中には、将来背負う可能性のあるリスク・不安が含まれている場合もある。

例えば、判断能力の低下、家族の喪失、傷病、失業、債務、消費者トラブルなどなど。放置するとより複雑化する。

→相談・権利擁護支援の中で、制度利用だけにとどまらない対応が求められる。

4